

# 平成27年度 学校評価集計結果

実践項目 1	学校のホームページを週1回以上(月4回以上)更新し、ディスカバリー新聞を迅速に配付する。
実践項目 2	オープンスクールや学校説明会等で、中学生に本校の魅力を発信する。
実践項目 3	就業体験、地域とともに心を育てる会、介護福祉施設等での活動に全職員で取り組む。
実践項目 4	地域と連携して、地域主催行事への積極的協力体制をつくる。
実践項目 5	体育祭や文化祭において、PTA会員にとどまらず地域の方々に広く招待する。
実践項目 6	PTAの諸事業の実施に当たり、成功に向けて全職員が全面的に協力する。
実践項目 7	年間を通して研究授業を行い、また生徒による授業評価を年2回実施して、職員の授業改善に活かす。
実践項目 8	各教科で生徒の実態に即して、年間指導計画、評価規準、シラバスの作成・改善を行う。
実践項目 9	少人数授業、TT授業などを積極的に取り入れて、生徒の興味・関心・実態に応じた授業を行う。
実践項目 10	週末課題等の適切な課題や朝の小テストを通して、家庭学習時間の平均1時間以上を達成する。
実践項目 11	生徒の希望進路の実現を目指した教育課程の編成を行う。
実践項目 12	学校設定科目、ディスカバリー科目について、生徒のニーズに応じて適宜見直しを図る。
実践項目 13	年3回以上の生徒面談を行い、拡大学年会で共通認識を深め、生徒個々に応じた生徒指導を行う。
実践項目 14	各学期ごとに学校生活に関する意識調査を行い、生徒の悩みや不安を早期発見し、生徒の内面理解に努める。
実践項目 15	全職員による一致した指導体制をつくるために、生徒指導の職員研修を行う。
実践項目 16	特別指導を反省指導だけでなく、生徒の更なる成長の機会として全職員で指導していく。
実践項目 17	警察、補導センター、補導委員会等との連携を緊密にして、得られた情報が生徒指導に活かせるようにする。
実践項目 18	関係諸機関と連携し、またその支援を得て講演会等を開催し、安全な生活が維持できるようにする。
実践項目 19	進路ガイダンスを各学年ごとに年1回以上実施し、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。
実践項目 20	進路面談を1学年から計画的に実施し、面接指導やマナー指導を繰り返す行う。
実践項目 21	年間を通してマナトレ、受験サプリ、模擬試験等を計画的に実施し、学力の伸長度を確認させる。
実践項目 22	体験学習、インターンシップ等に生徒を積極的に参加させ、自己理解を深めさせる。
実践項目 23	企業訪問や大学見学会、オープンキャンパス等への生徒の積極的参加を促す。
実践項目 24	各種資格・検定試験を早期より積極的に受験させ、進路意識の高揚を図る。
実践項目 25	学校の諸問題について、各部主催による校内研修会を必要に応じ適宜実施する。
実践項目 26	校外研修等で得られた成果を校内研修会や職員会議で報告し、教育活動に活かせるように全職員に還元する。
実践項目 27	教育活動全般をとおして、人権尊重の精神を育てるとともに、共生をめざす人権教育を推進する。
実践項目 28	人権教育に関する職員研修を実施し、正しい認識と理解を深めて指導力の向上を図り、職員の人権感覚を高める。
実践項目 29	学校評価結果を各部・学年で検証し、適宜取組について評価・見直しを行うことにより、次年度へ反映させる。
実践項目 30	教育活動が円滑に展開できる、機能しやすい分掌・委員会組織をつくる。

